



3rd at
Riko & Maki
tacc
a

夏風ニクルト

summer wind Beklemm f



3rd
Riko
& Maki
at
tacc
a

夏風ニクルムト

Summerwind Beklemmt.

夏だ！

海だ！

バケーション
にやー！！

凜ちゃん
気をつけないと
落ちちゃうってば

文化祭の打ち上げ
とはいえ
はしやぎすぎよ

高校生活
最後の夏休み

真姫ちゃんの
別荘で目一杯
楽しむ…

はず…
なのに…

何で一人
だけゴソゴソ
してるにゃー

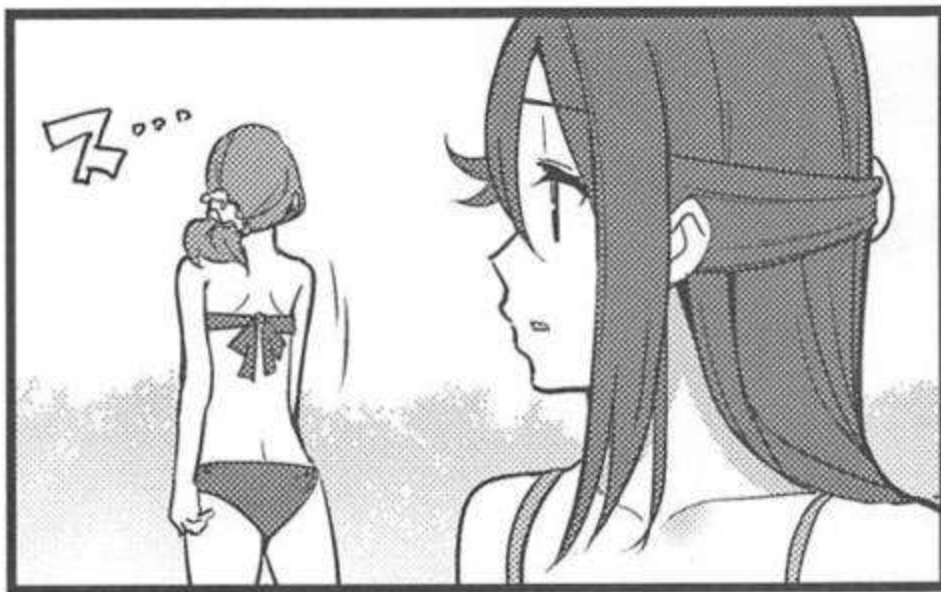
だって
恥ずかしいじや
ないですか!!

学園祭では
可愛いらしい
メイド服を
来てたのに…

メイド服と違って
水着は体のラインが
出ちゃいますし…

そんなことでは
見せたい相手は
振り向いて
くれないよ…?

見せたい
相手なんて
いません!!



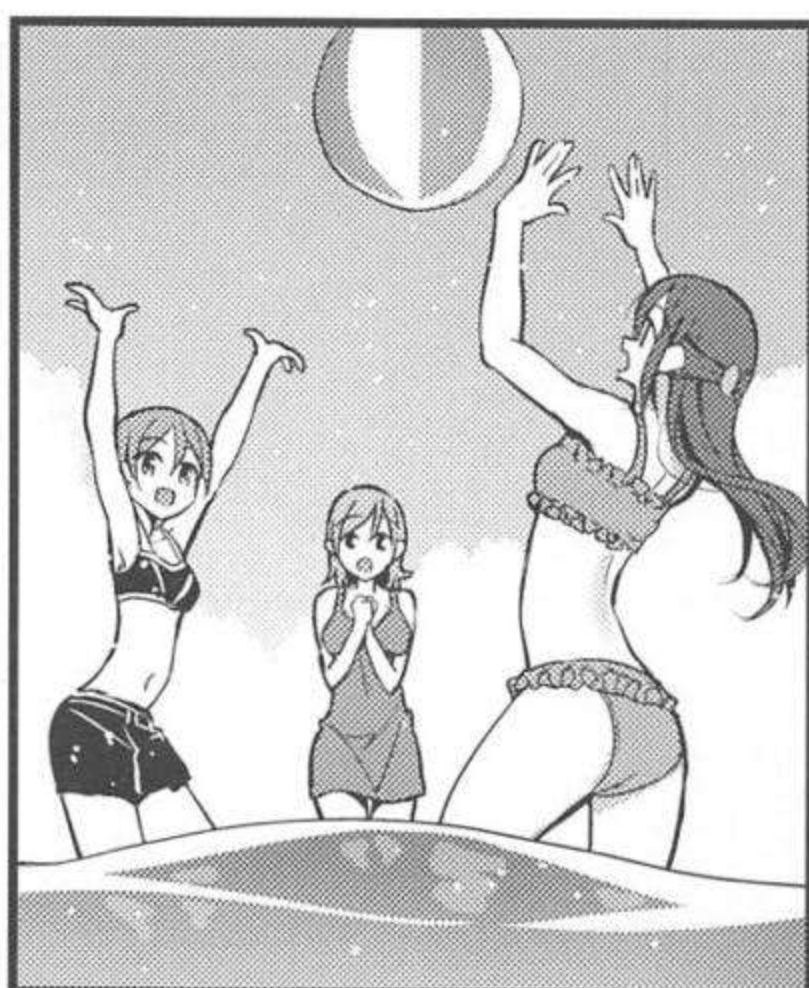
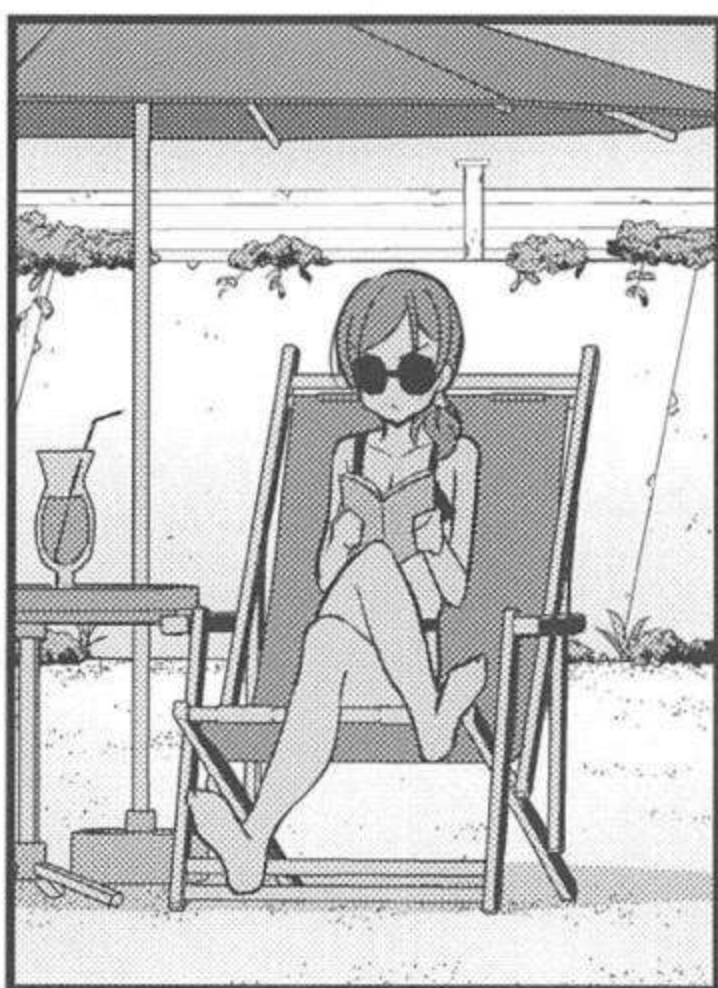
制服の上からだと全然分からなかった...

だいたいいつも一緒にいるのに、なんであの体型を維持できるのよ...

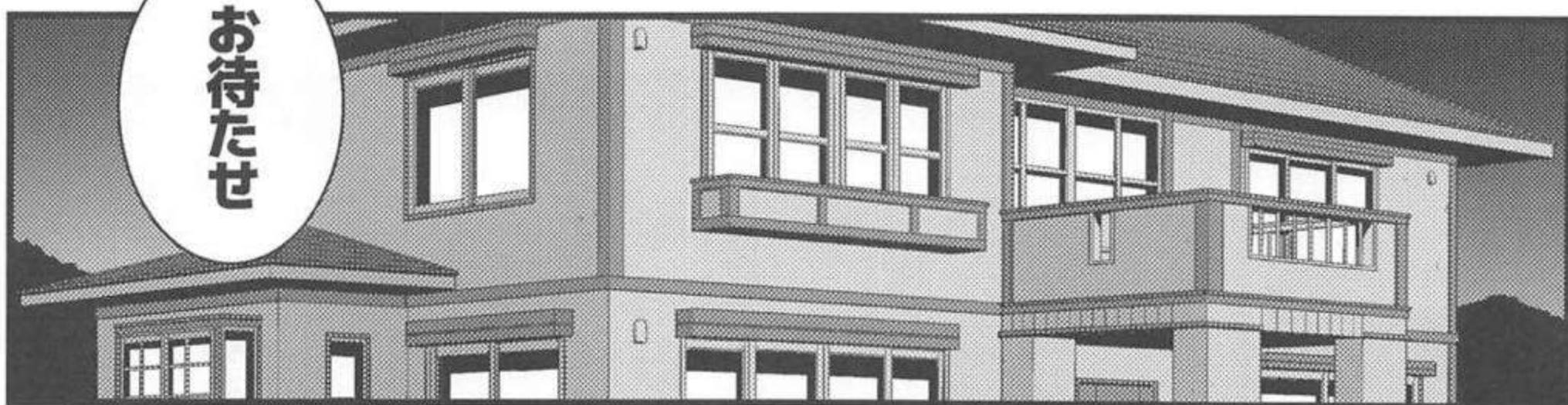


まさか梨子のスタイルが、あんなにキレイだったなんて...

やややや、やばいわね



お待ち
ませ



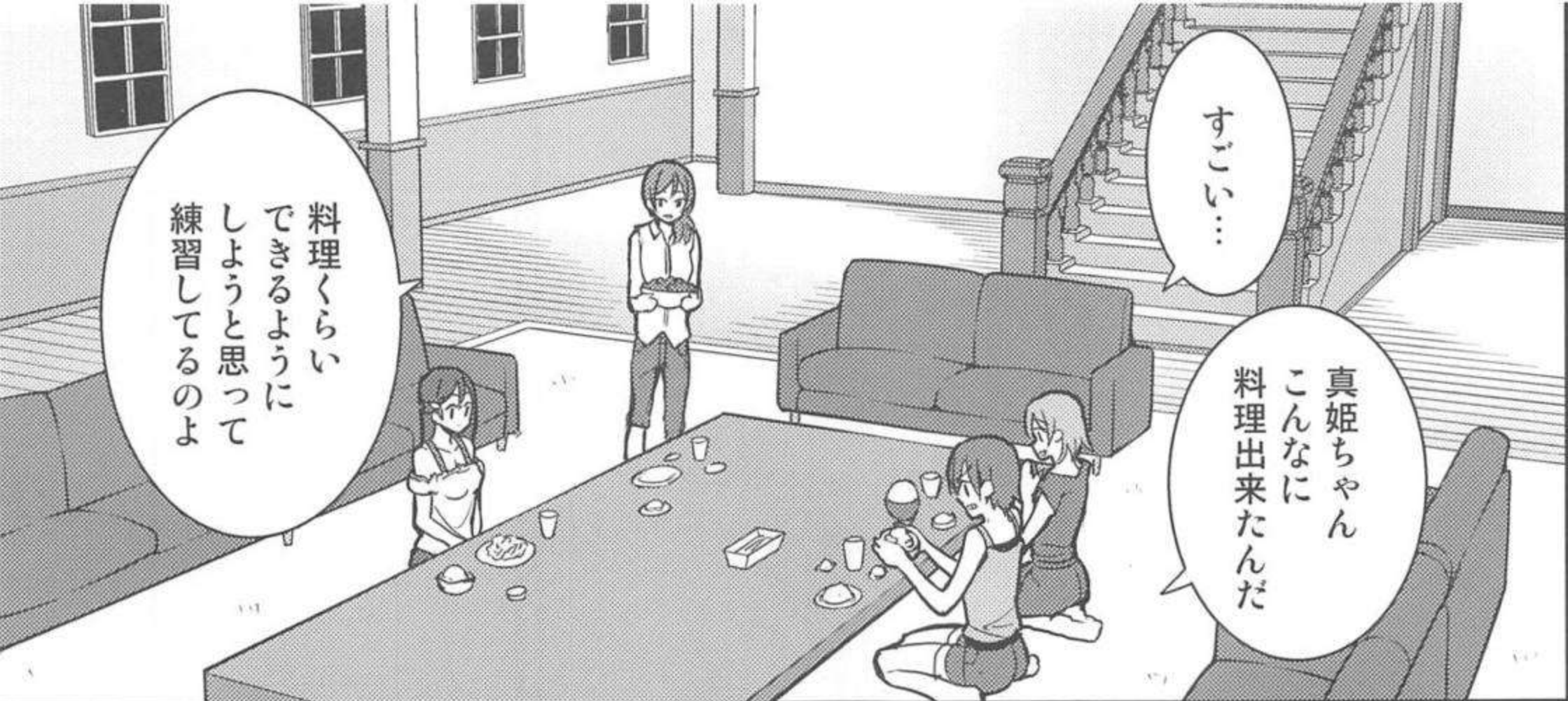
梨子にも
同じ魚介を
使ったパスタ

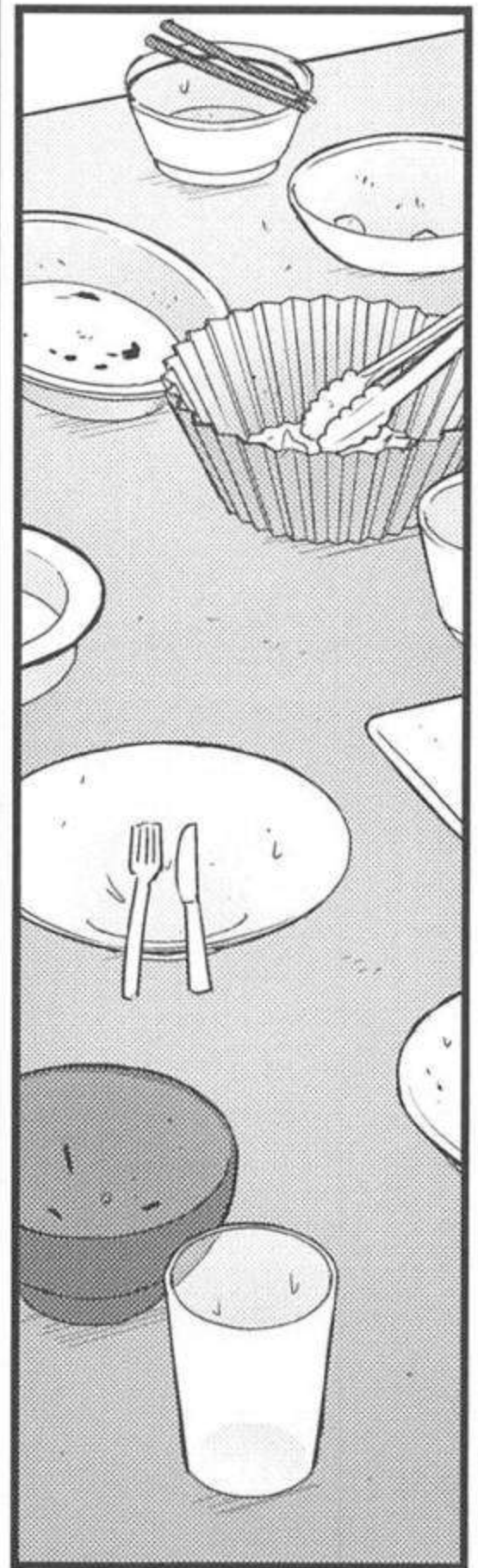


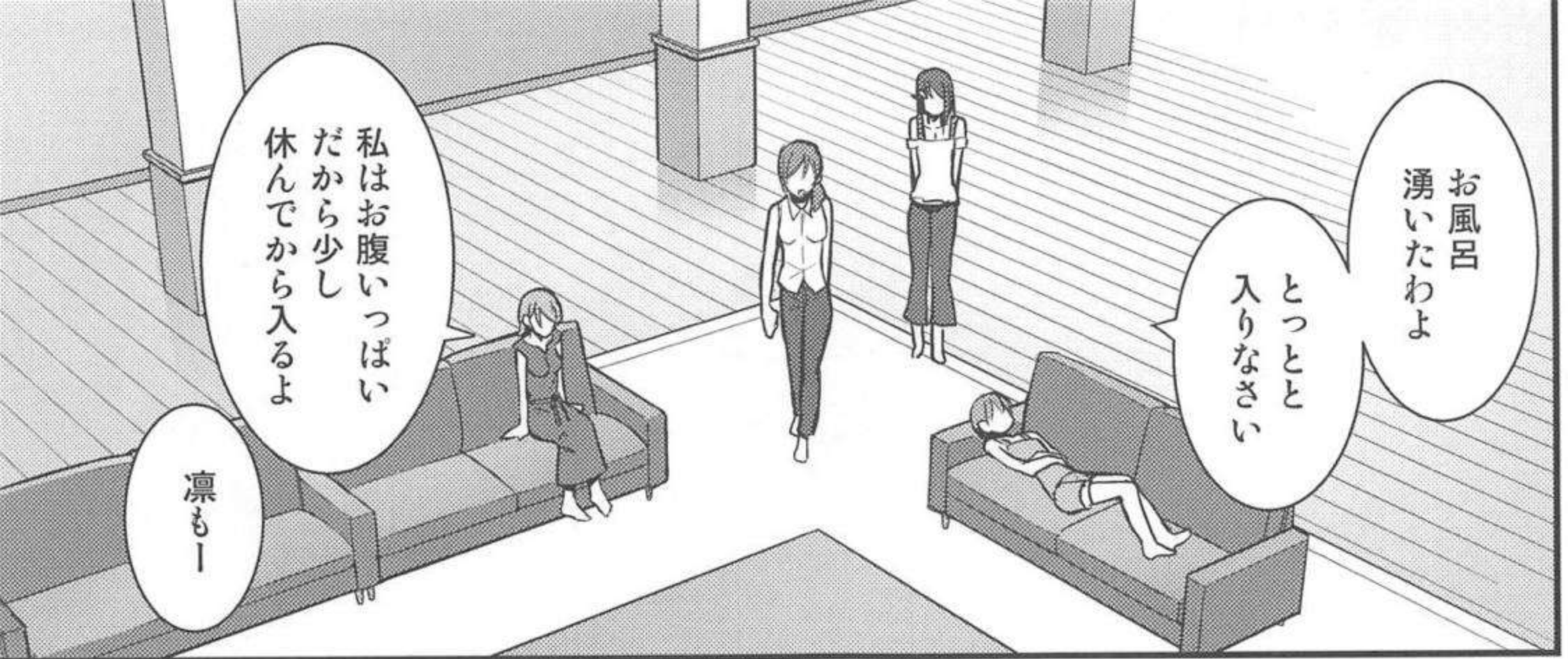
凛には
海老ベースの
ラーメン



近くの港で取れた
魚介類を使った
鉄火丼

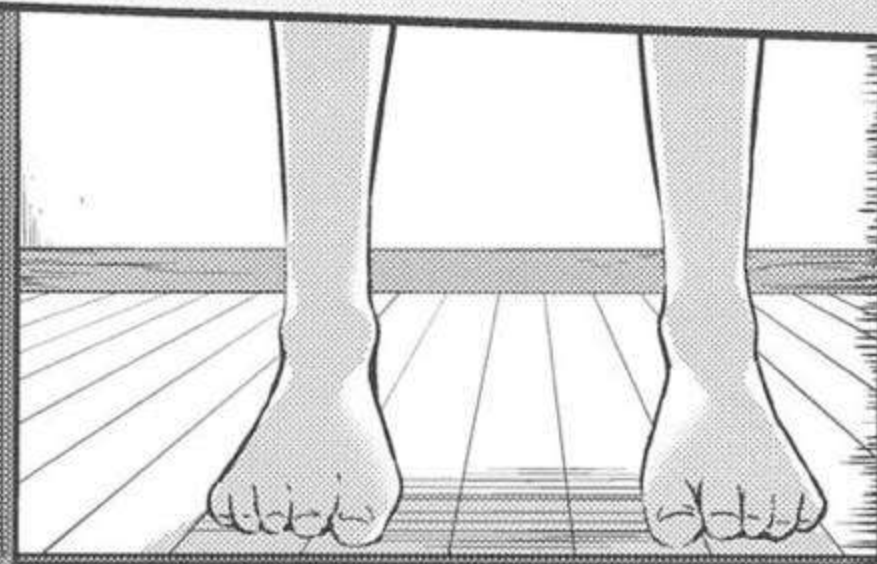








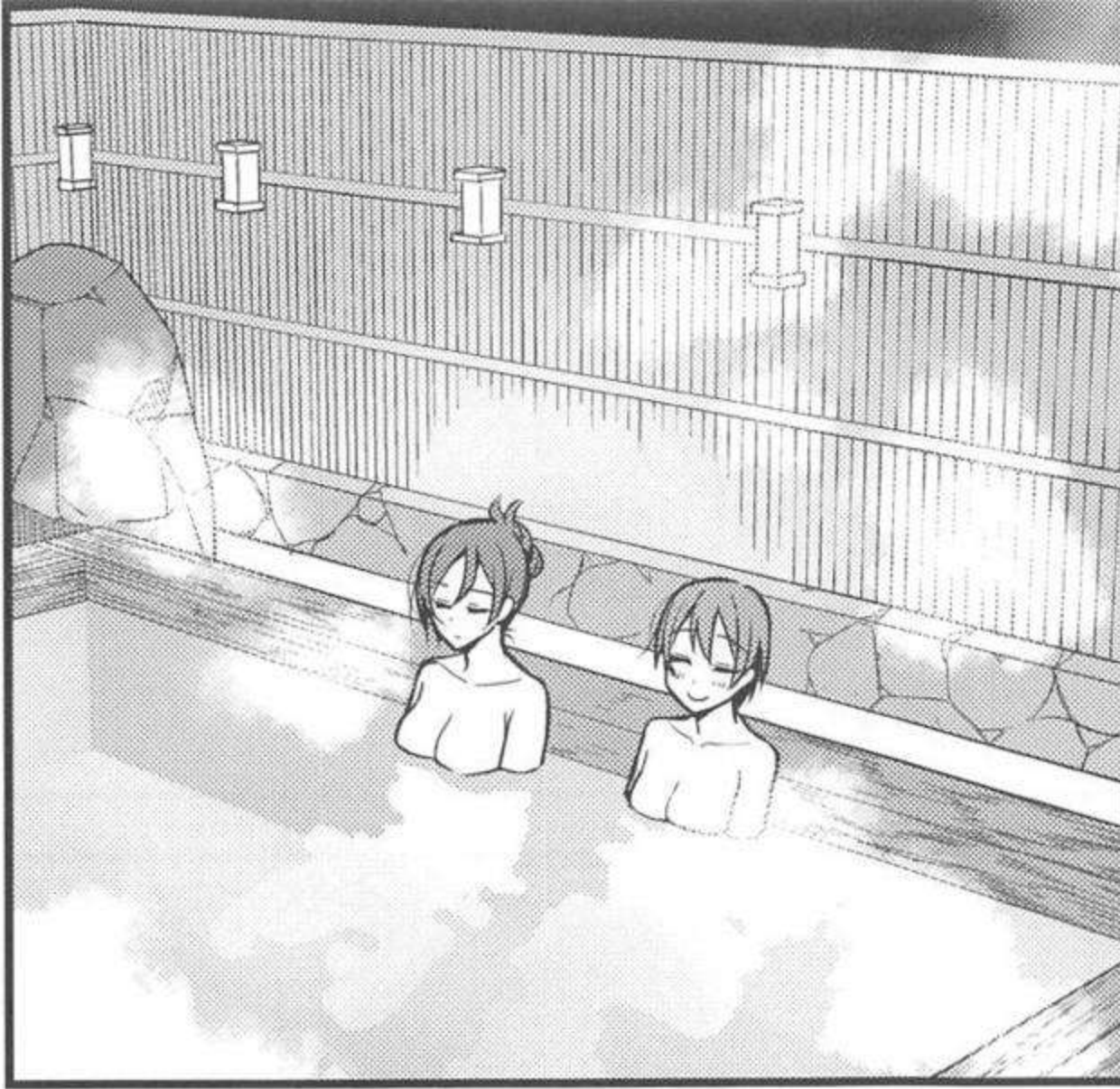
カッコー!!!



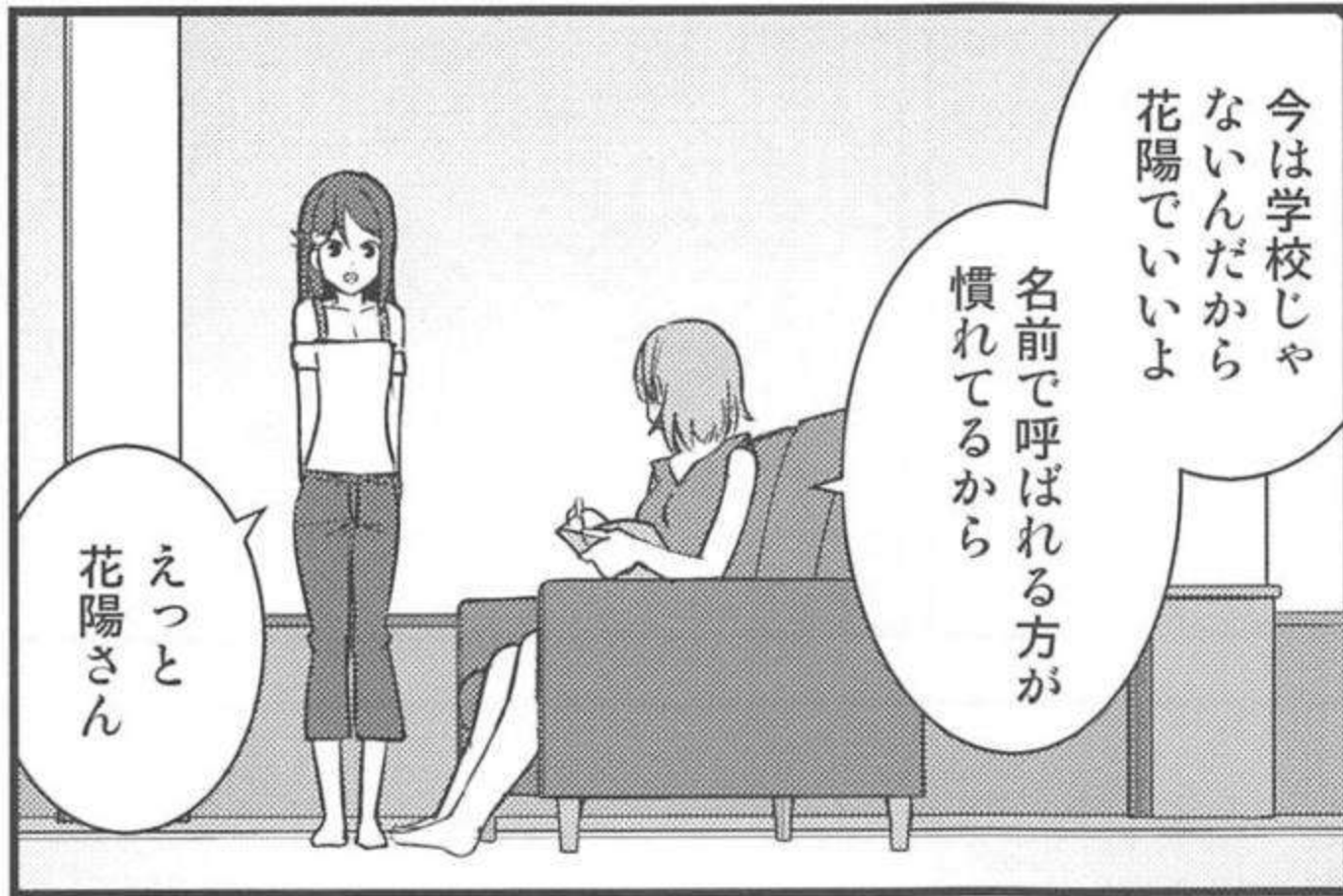
凜：
少しは恥じらいを
持ちなさいよ



お邪魔
するにやー





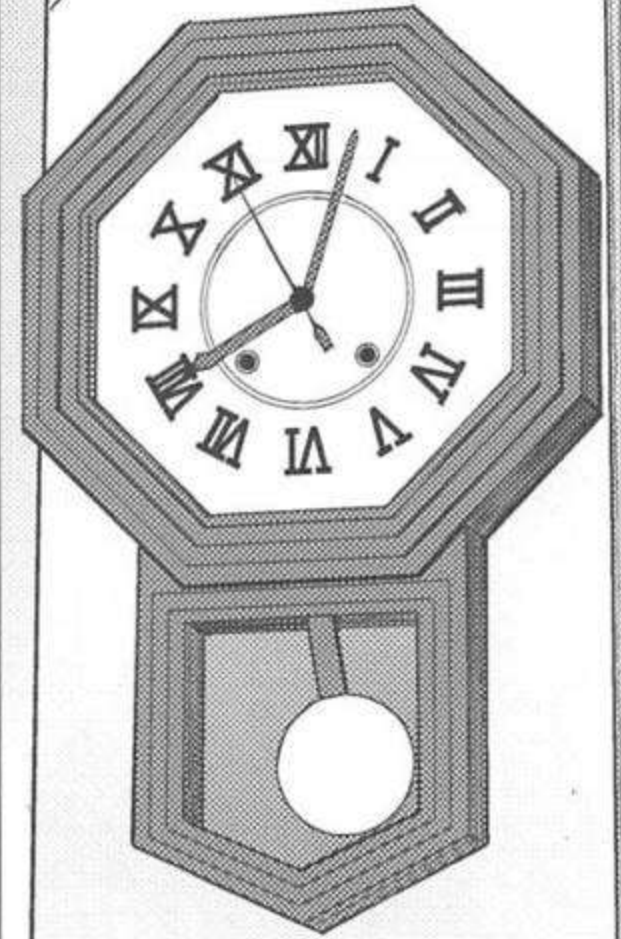


えっと
花陽さん

名前で呼ばれる方が
慣れてるから

今は学校じゃ
ないんだから
花陽でいいよ

あの：
小泉生徒会長



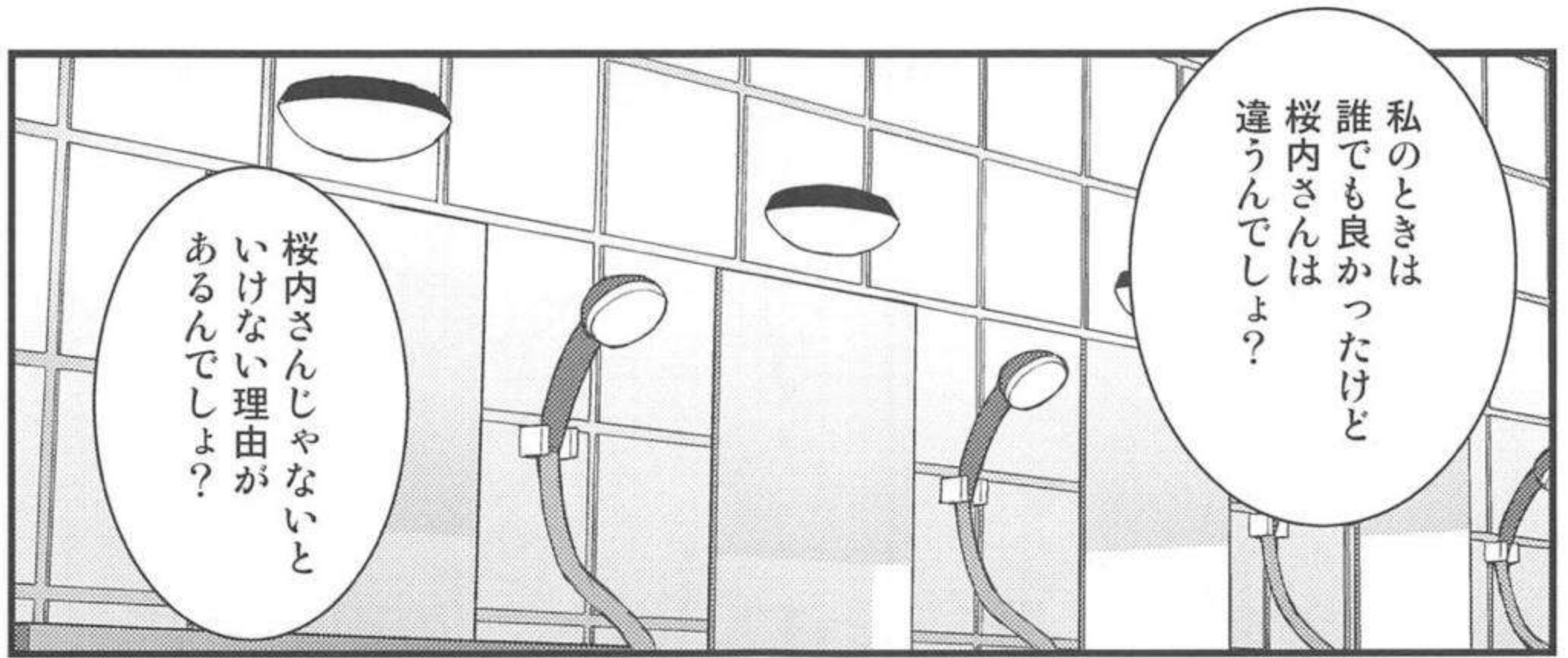
わかった：
夜も遅いし
外も暗いから
気をつけてね

私：腹ごなしに
ちよつと
散歩してきます



はい
行つてきます





私のおときは
誰でも良かったけど
桜内さんは
違うんでしょ？

桜内さんじゃないと
いけない理由が
あるんでしょ？



逃げちゃうよ
ぴゅーって



ただ側にいるだけじゃ
一緒にいることには
ならないんだよ？

だからちゃんと
捕まえて
おかないや

猫ちゃん
みたいに



猫ちゃん
みたいに





ええ…もう
上がっちゃったの

えへへ…



凜ちゃん!?
どうしたの

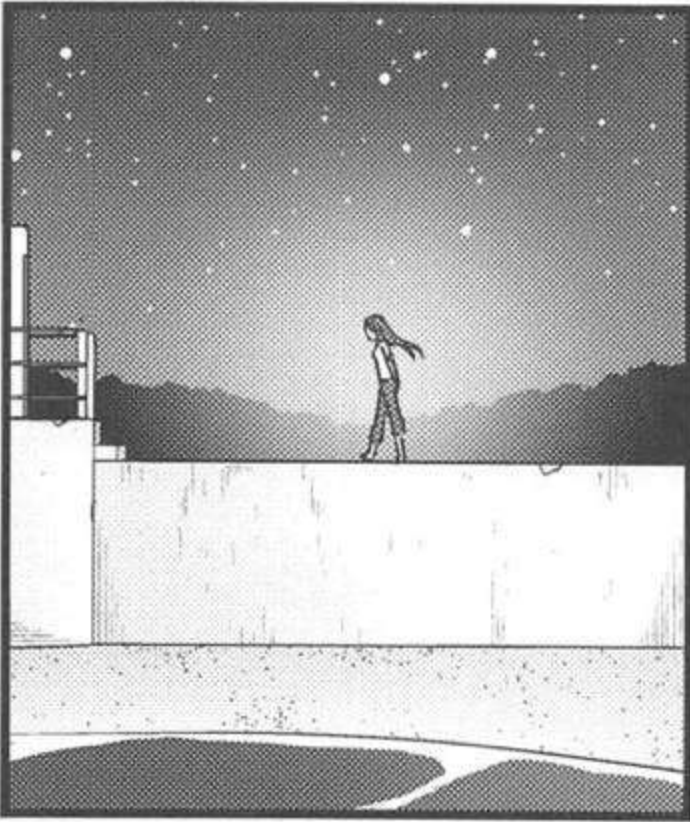


んっ!

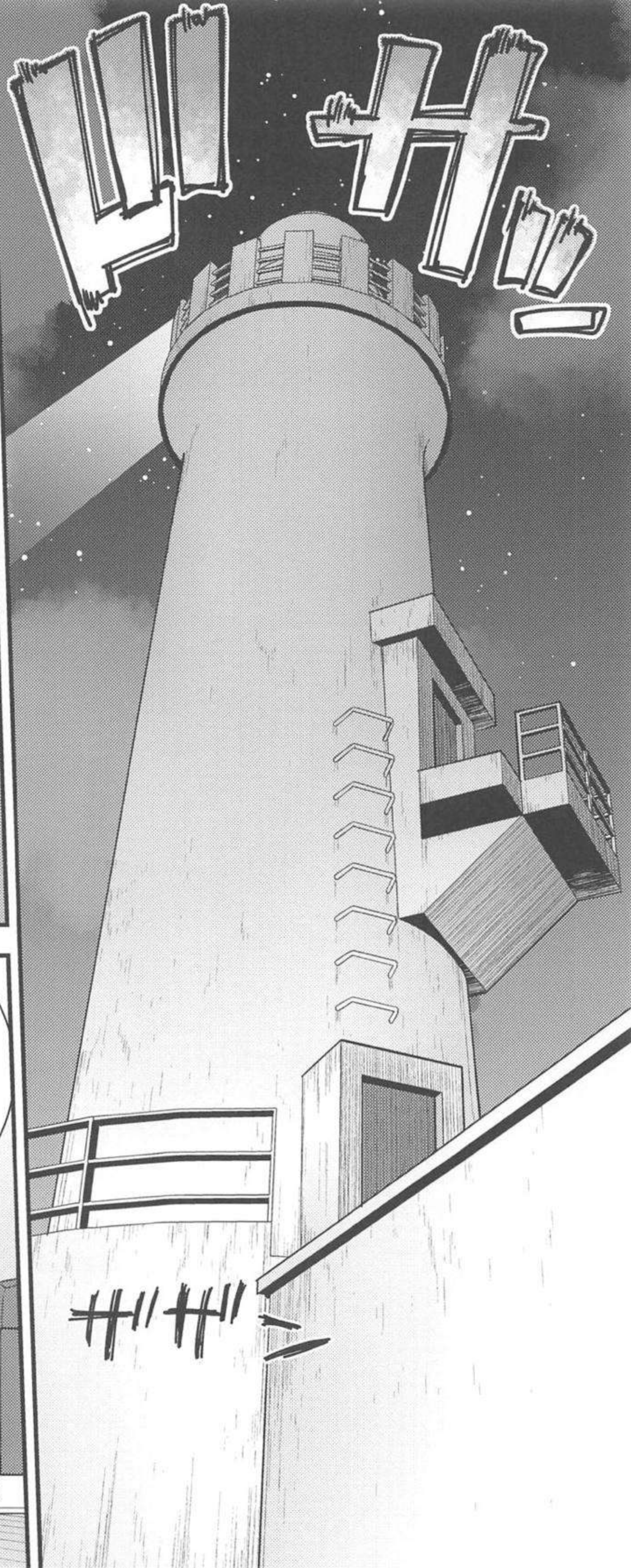
触れるだけなら
こんなにも
簡単なのに…

凜にはまだ…
追いかけるだけで
精一杯だよ

何でもないー









スマホは置いて
いっちゃったから…



電話は!?



…私が
探しに行くわ
この辺りの
事は私が
一番詳しいから

真姫ちゃん…



わかった!

うん



もし一時間経っても
連絡がなかったり
帰ってこなかったら
警察に連絡して



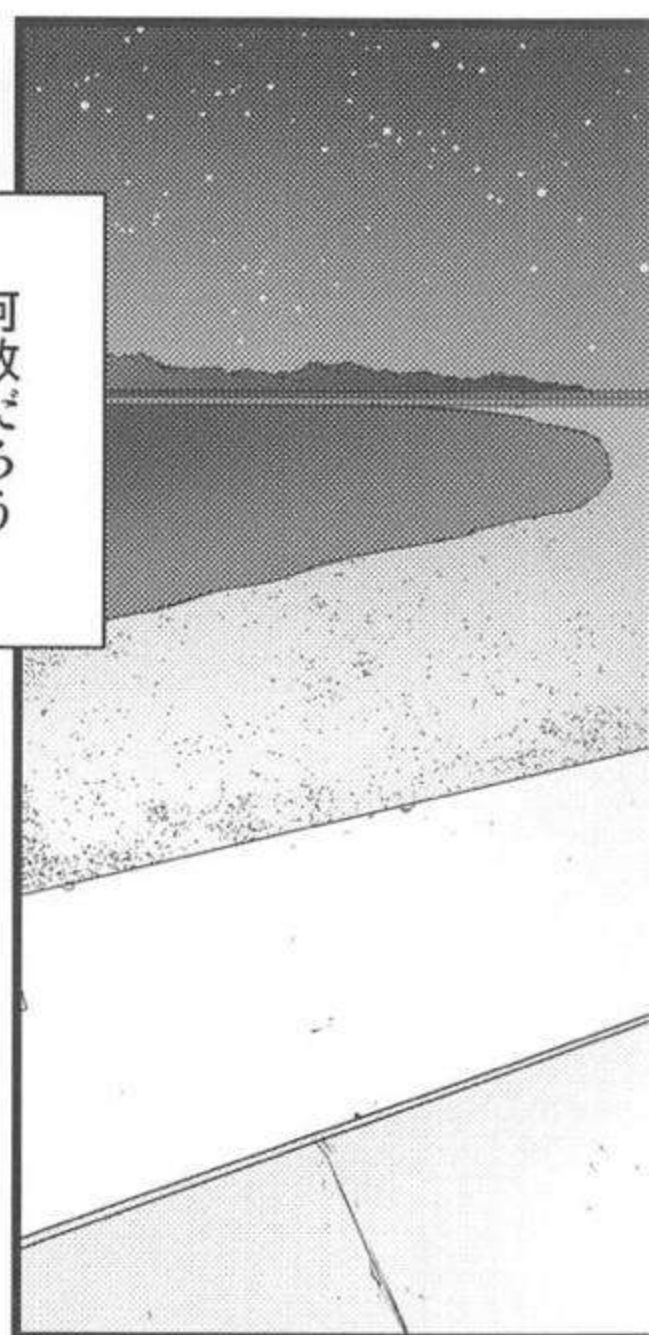
梨子ー



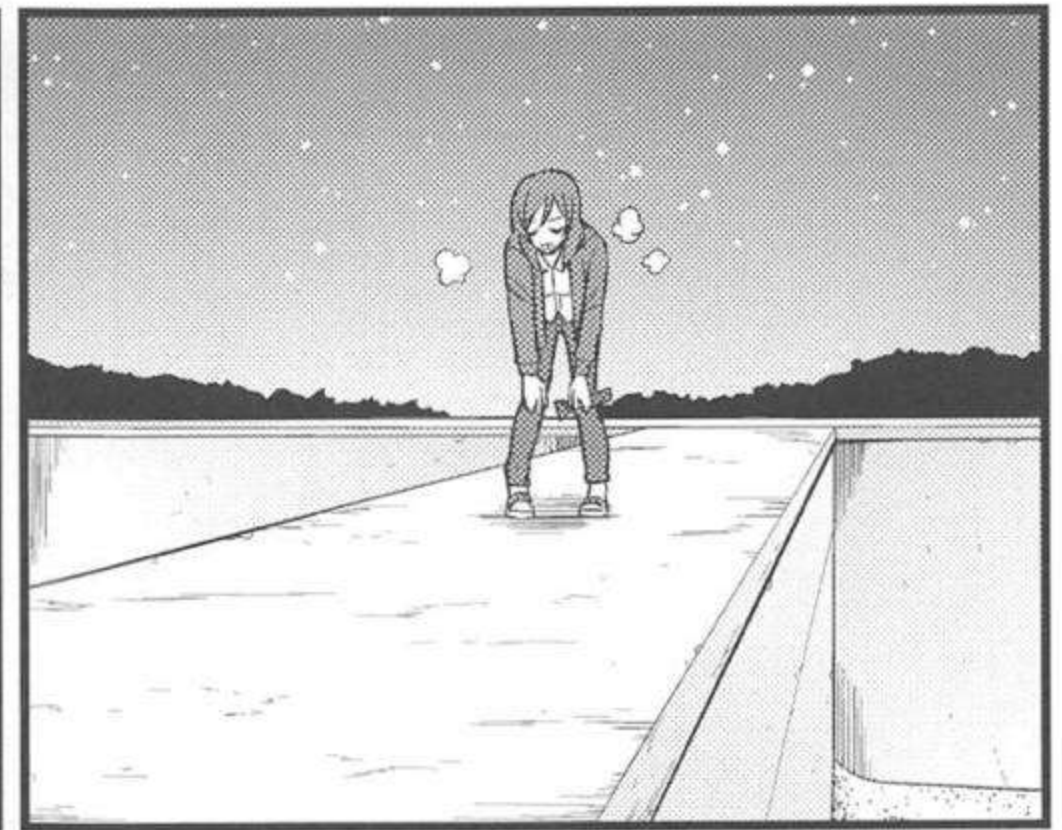
こんな時に
思い出してしまう



何故だろう



彼女たちの
事を：





大丈夫!?

梨子!

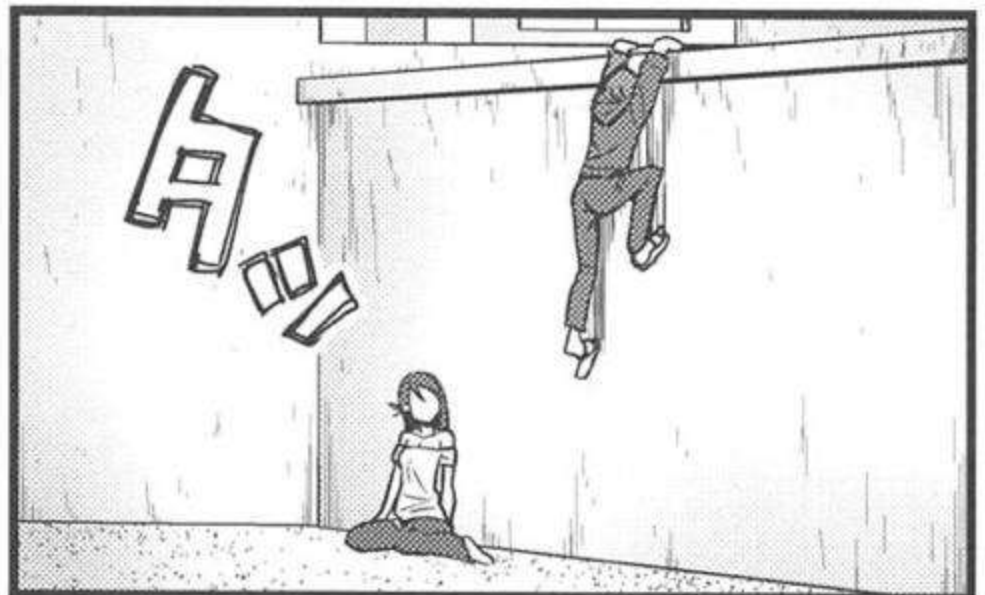


はい...

ちよつと
足を挫いちゃって...



見せて





応急処置を
するから
じっとしてて



軽く捻挫
してるわね



ちよつと防波堤から
落ちちゃったみたい

足を少し怪我
してる

…大丈夫
私がおぶって
いくわ

海岸線沿いに
帰るから…

ええ…
それじゃ

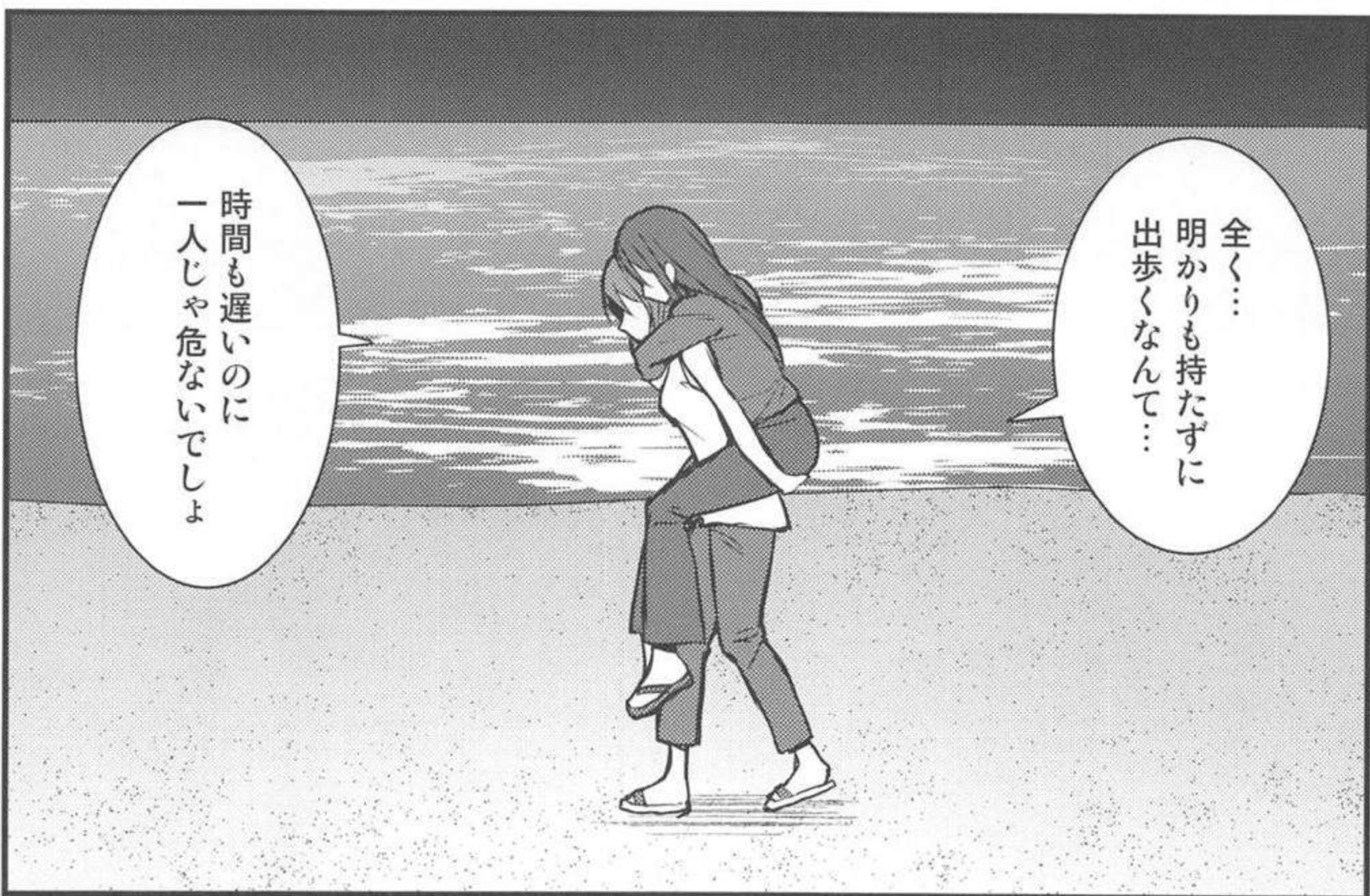


もしもし
花陽？

ええ…
見つけたわ

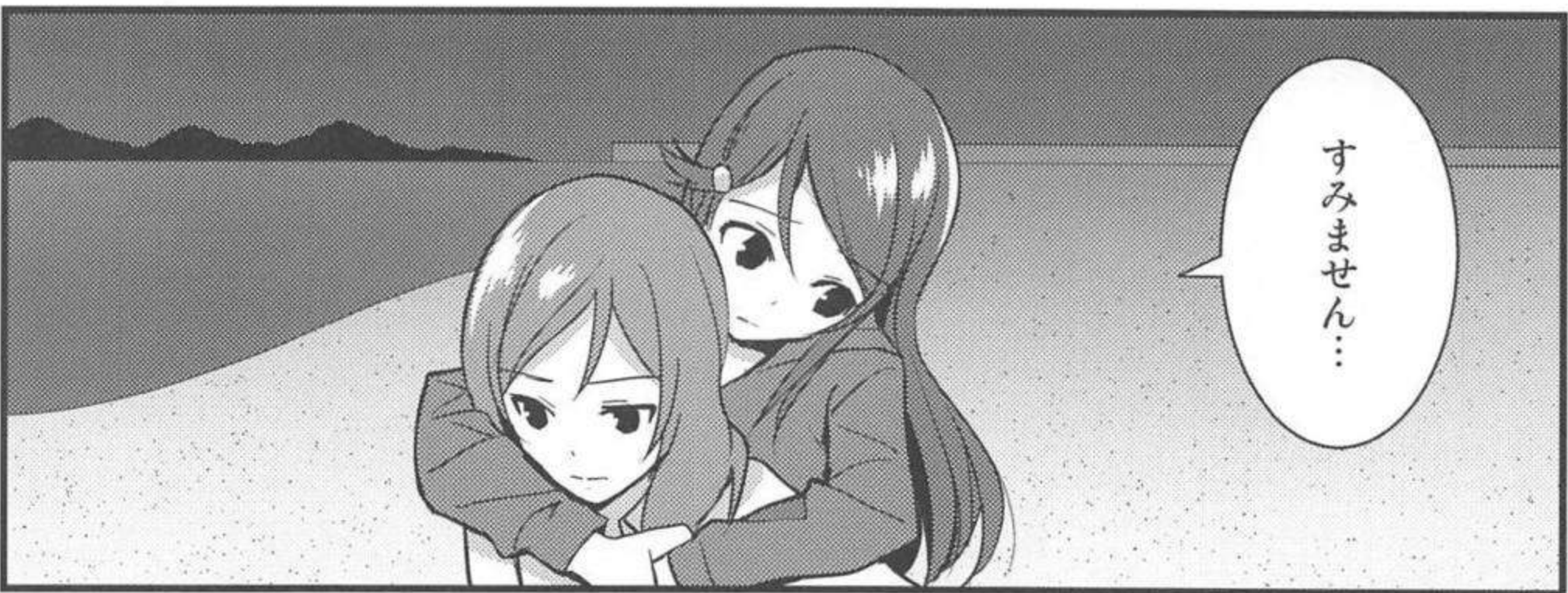


さ
帰るわよ




時間も遅いのに
一人じゃ危ないでしょ

全く…
明かりも持たずに
出歩くなんて…

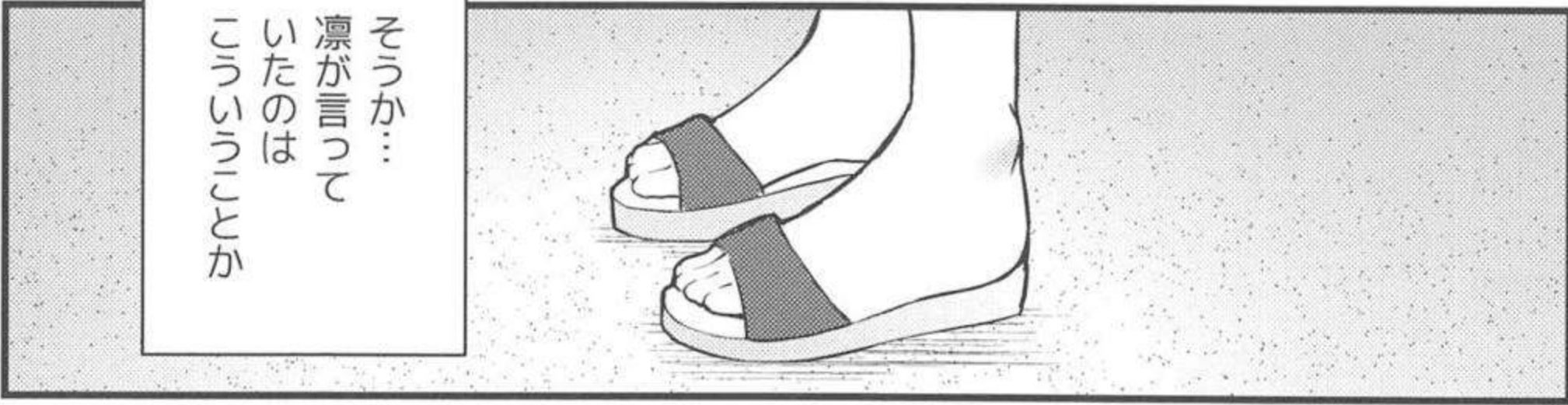


すみません…






先輩はもしかして
私じゃなくても
よかったんですか？



そうか…
凛が言って
いたのは
こういうことか



ちゃんと梨子を
捕まえておかずに



好意に
甘えて

自分の事ばかり
考えて

不安にさせて
しまった

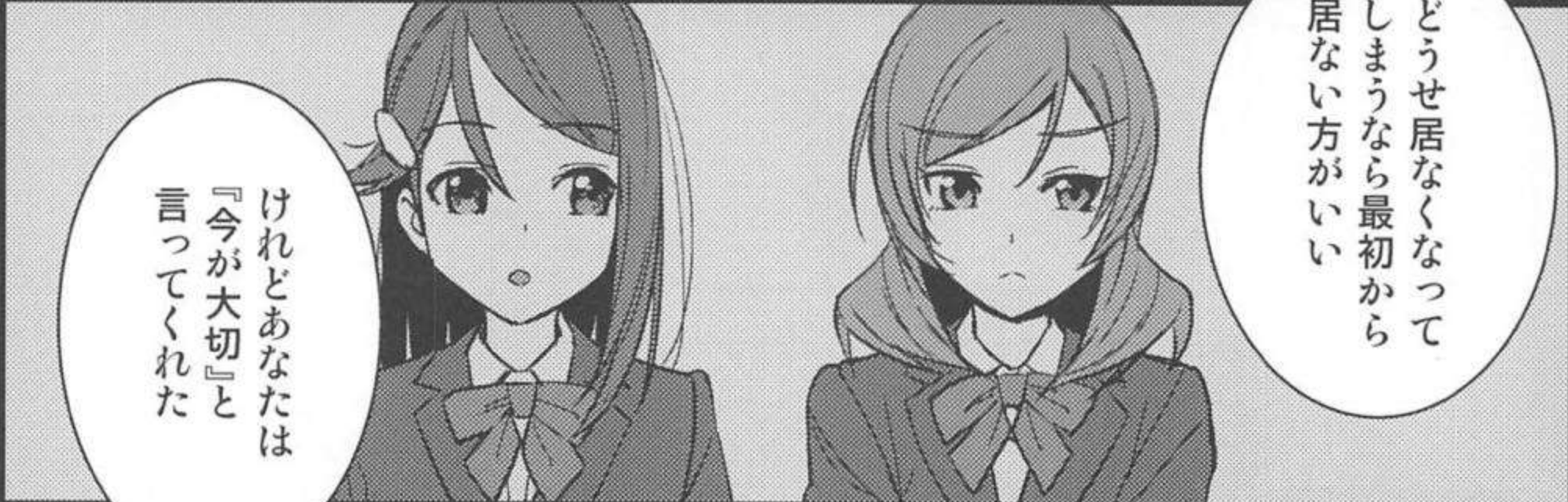
誰でも
良かった…

…といえば
確かに誰でも
良かったのよ

違うわね…
誰でも良くなかった
と言う方が
正しいかしら


大切な人は
いなくなつて
しまうし

先輩…




どうせ居なくなつて
しまふなら最初から
居ない方がいい

けれどあなたは
『今が大切』と
言ってくれた



だから私は
あなたを選んだの



好きになつた
理由はない…

でも好きになる
理由はあると
言つた所ね

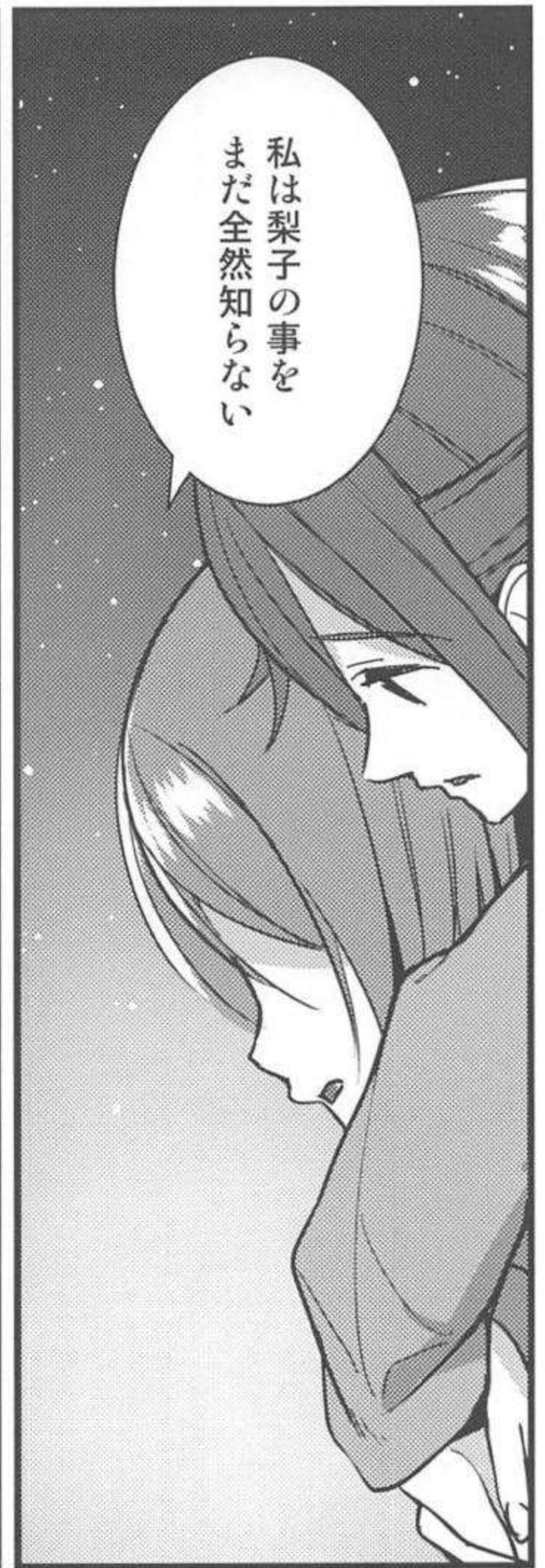


好きな色も
好きな音楽も
好きな食べ物も

梨子のスタイルが
悪くない事だって
今日始めて知ったわ

別に私と
釣り合う
必要はない

あの二人に
並ぶ必要もない



私は梨子の事を
まだ全然知らない

あなたは
あなたのままで
いなさい

私はそんな
あなたの事を
知りたいの

知って
もっと好きに
なるの



それじゃ
ダメ
かしら？

先輩…

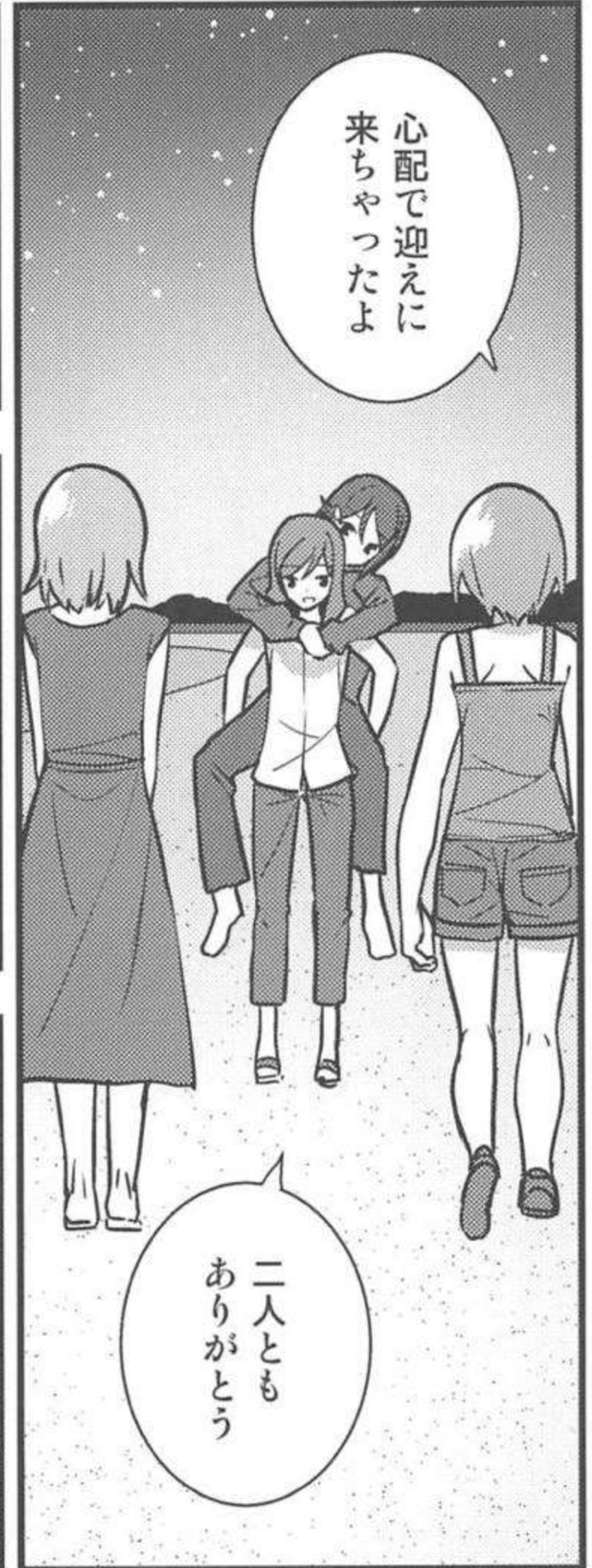


真姫ちゃん

桜内さん



大丈夫？
手伝おうか？



心配で迎えに
来ちゃったよ

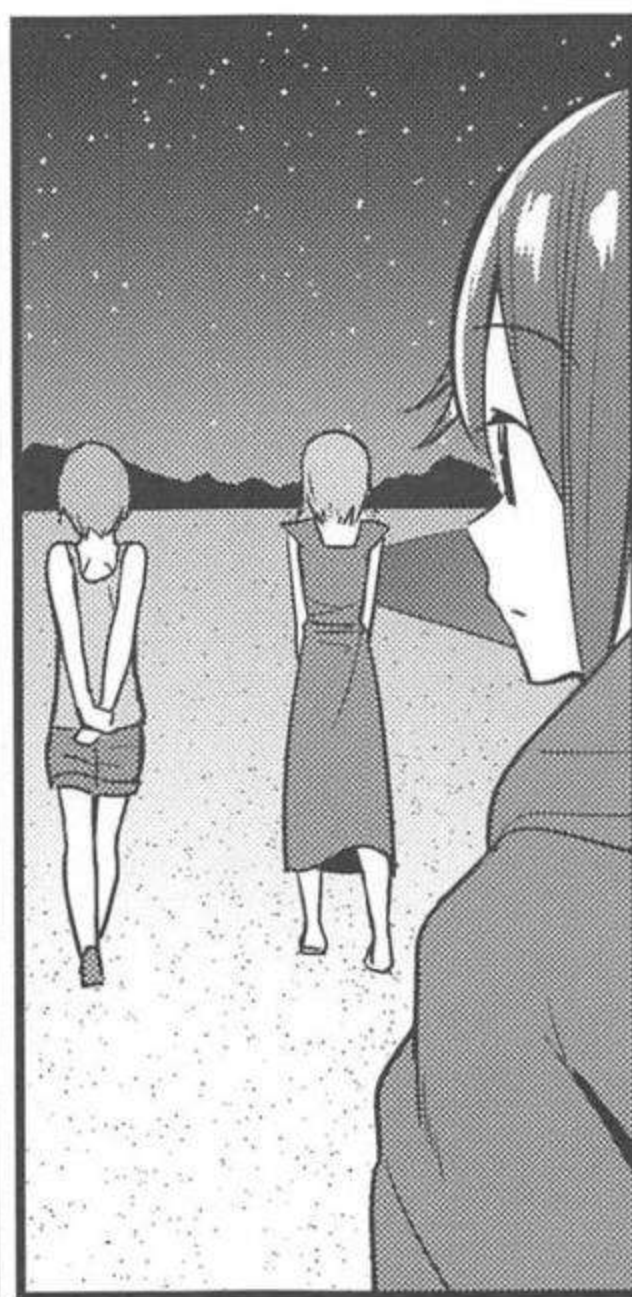
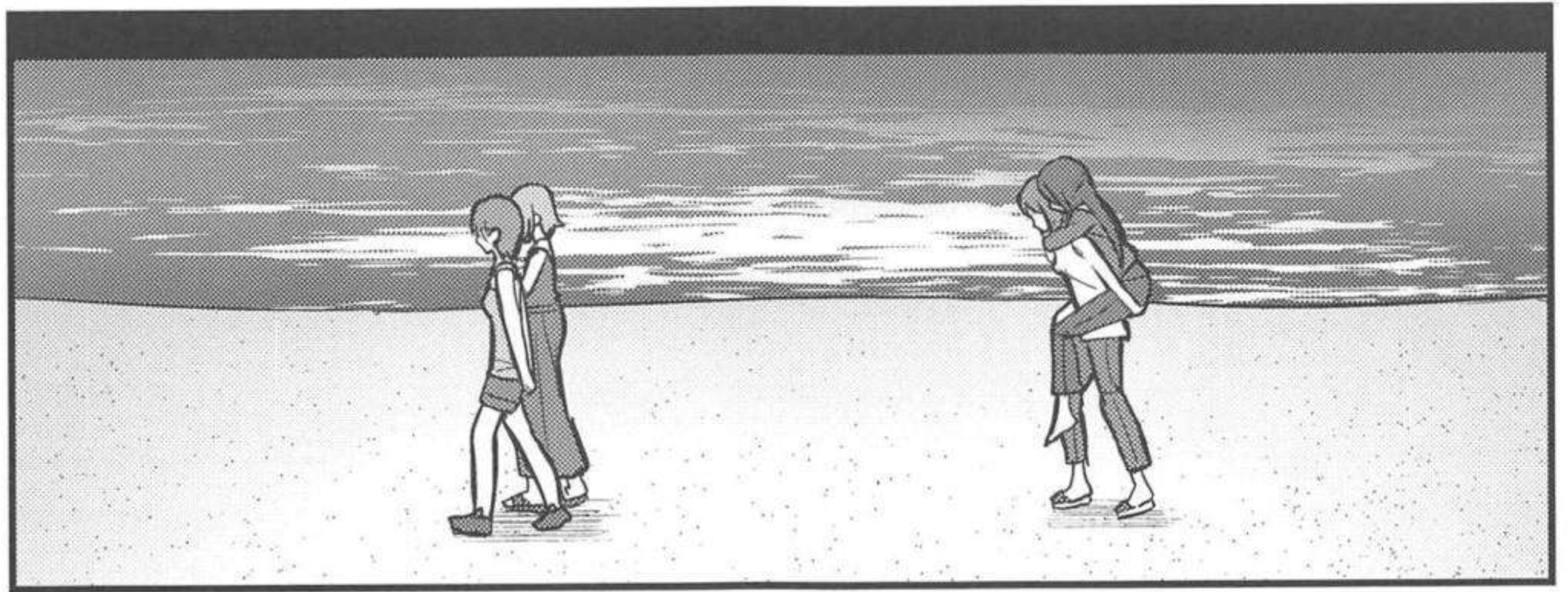
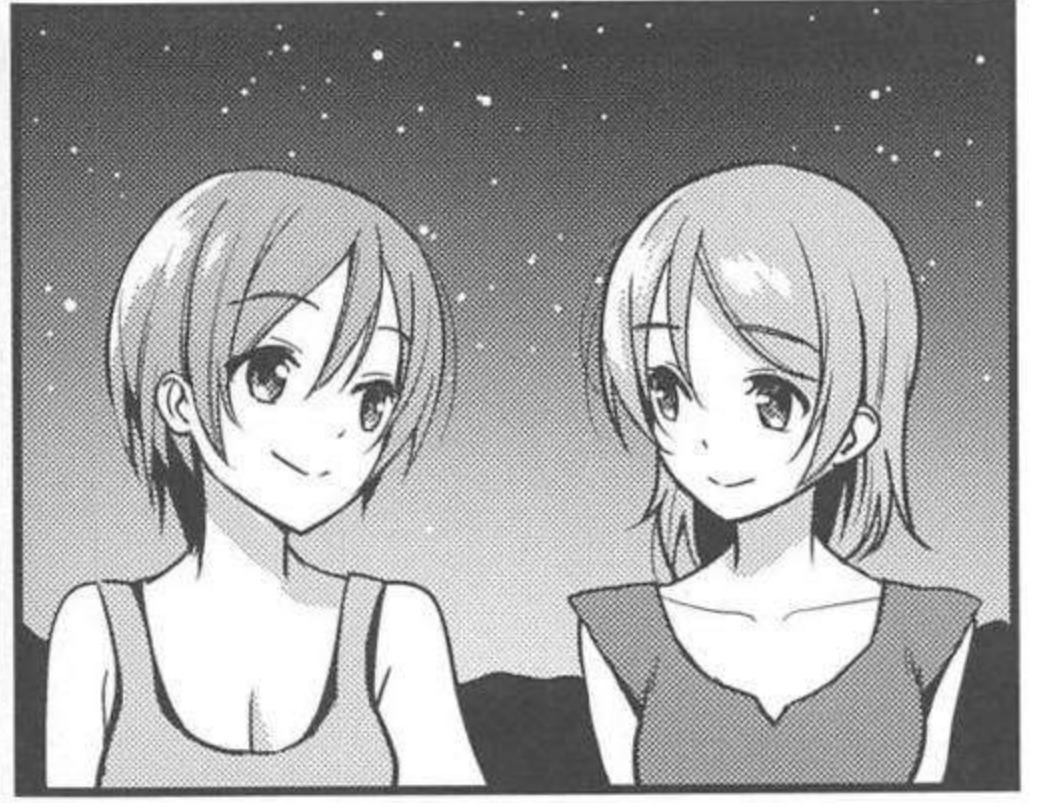
二人とも
ありがとう

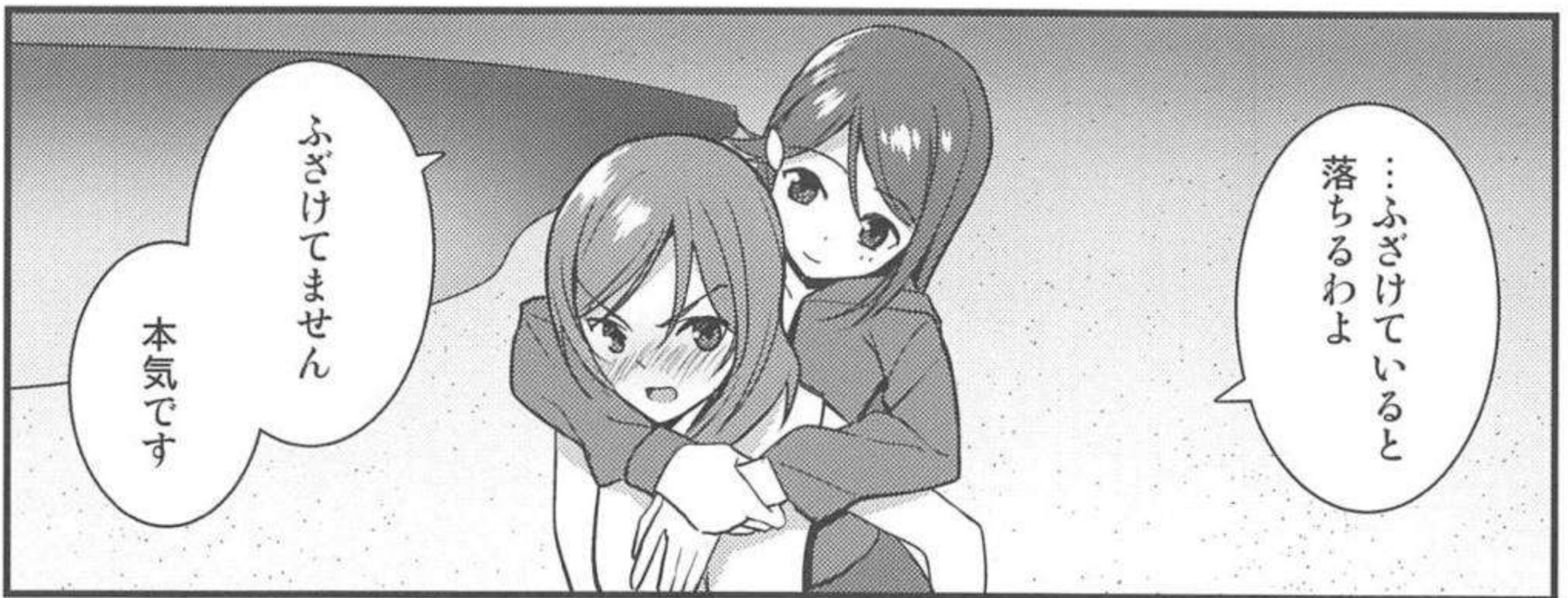


平気よ
彼女は…

梨子は
私が背負って
いくわ

最後まで





恋に

ああ…背負った
体勢のまままで
よかった

トマトより
真っ赤になった顔を
見られずに済むから



サンドイッチ

え？

私の好きな
食べ物です

そう…じゃあ
明日の朝ご飯は
サンドイッチに
しまし…

いいえ…



一緒に
作りましょう

背中越しに感じる
梨子の胸の鼓動は
私と同じように
とても早かった

はいっ

この心地良い
リズムを
ずっと聴き
続けるため

もう梨子を
離さないと
私は心に決めた

あとがき

こんにちは、ながれぼしです。
この度は本をお手に取っていただき、誠にありがとうございます！

前回『ご注文はエンドロールのあとに』が比較的さっぱりした(?)話だったので、
水着、温泉、告白…と今回は色々詰め込んでみました。
生徒会組もいると場が賑やかになって描いてとても楽しかったです。

次は秋頃のお話になればいいなあ…と思います！
それでは—

■ 夏風ベクレムト

発行日：2017年08月13日

印刷：ねこのしっぽ

■ ながれぼし

サークル：Do well !!!

Twitter：@na_ga_re_boshi

pixiv：id=8391

mail：na_ga_re@kdt.biglobe.ne.jp

■ 表紙・裏表紙・内表紙デザイン

ひなの

Twitter https://twitter.com/_hi_na_no_

pixiv <http://www.pixiv.net/member.php?id=2946956>

転載、複製、オークションの出品等をご遠慮ください。

夏風ビケルムト